

「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」(ルカによる福音書 10 章 20 節)

### 「天の国の名簿」

「♪一人ひとりの名を呼んで 愛してくださるイエス様 どんなに小さな私でも 覚えてくださるイエス様」。この一文は、「ひとりひとりのなをよんで」という讃美歌 1 節の歌詞です。礼拝ではイエス様がいかに私たちを愛してくださっているのかについて、繰り返し語ります。しかも私たちが良い子であったり、イエス様について詳しく知っているといった条件なしに、一方的に愛してくださるのです。このことは真実で、イエス様の愛は全人類に及んでいるのです。しかし、イエス様は人類をひとくりにしてなんとなく愛しておられるのではありません。もし、「あなたも人間だから愛してあげる」というのであれば、どこか寂しさを覚えないでしょうか。だって、それではイエス様の目が人間全体に向けられていても、「私」個人には向いていないことになりますから。

一人ひとりの名を呼んで愛する。それはつまり、みんなの中の私一人をイエス様はちゃんと見つけ、100%の愛で愛し、守り続けてくださるという事です。私たちみんなを愛してくださる。私たち一人ひとりを愛してくださる。この二つは似ているようで全く違います。イエス様のこの愛を知り、受け止める人は、日々、自分一人のためにイエス様がどれだけ良いことをしてくださっているのかに気づくことができるでしょう。朝、新しい命が与えられる。食事が与えられ、住む家、着るものが与えられる。愛する家族との交わりが守られ、眠りにつくことができる。なんと素晴らしい恵みと祝福でしょうか。

そして、イエス様の愛は地上の歩みに留まるものではありません。その人の人生が終わりを迎えた後にも、この愛は続くのです。「あなたがたの名が天に書き記されている」と、10 月の聖句には書いてあります。これは「天国の名簿には既にあなたの名前が書いてありますよ」という事です。イエス様を主と信じ、その交わりに加えられた人の名前をイエス様は名簿に記してくださるという事です。名簿に名前があるという事は、その場所への所属が保証されているという事です。という事は、イエス様を信じる者は地上にいながら、天国に入ることが保証されていると確信することができるのです。これ以上大きな喜びはありません。素晴らしい未来が約束されているので、地上の歩みにも希望が溢れてくるのです。イエス様のあなたへの愛は永遠に失われません。あなたを今も喜びへと招いておられます。その確信が子どもたちだけでなく皆様一人一人にも与えられますように。





2021年10月1日  
認定こども園福光青葉幼稚園  
園長 横山一乃

保育理念	受ける愛 与える愛
	愛されていることを知り・愛する者となるために

「はずませて」

朝夕はめっきり涼しくなり、凌ぎやすい季節になりました。そして体を動かすのに心地よい季節にもなりました。コスモスやキバナコスモスが風に揺れる光景を眺める子ども、稲刈りをするコンバインに見入る子ども、アサガオの種を一生懸命に集める真剣な子ども、バッタやカマキリの虫探しに夢中な子ども、縄跳びやケンケンパに励む子ども・・・あちらこちらで好きな遊びに取り組む姿が見られるこの頃です。

「お山があつたら、かけっこする時、転んじゃうね」「石が落ちていたら、ケガするね」と毎日泥んこ遊びを楽しませてくれた園庭の真ん中に置かれていた「土」は、子どもたちと共に地ならしをすることになりました。頼もしい年長組の子どもたちが、率先してシャベルで土を何度も何度も運んでくれました。それを見ていた年中や年少組の子どもたちも応援し、保育者たちとの共同作業であつという間に園庭は「平ら」になりました。みんなでする園庭は、みんなの力で「平ら」にしたと自負する子どもたちの顔は、やり遂げた満足感でいっぱいのような様子でした。早速、園庭には白線でトラックが描かれました。リレーを経験したことのある年長組の子どもたちが走る姿を見ていた子どもたちは、同じように走りたい思いが募ります。年長組が部屋に入った後で、真似をしてトラックを走る子どもの姿がありました。初めて耳にする「よーいドン」何度も聞くうちに「よーいドン」の意味が分かり、今では始めの合図であることが分かったようです。体を動かして運動する心地よさを感じた子どもたちは、「お茶タイム」と言っている休息の時を持つ中で、自然と友だちとの会話にも花が咲き楽しさを共有しています。運動会のねらいとして①「神様に守られて、丈夫な身体で活動することは、楽しいことを知る」②「友だちと協力し、互いに認め合い、助け合って運動遊びをする」③「運動遊びに喜んで参加する」④「ルールを守り、楽しく参加する」⑤「友だちへの応援を、楽しんでする」⑥「最後まで諦めないで努力する」等があります。今月の主題は「はずませて」です。運動だけでなく、神様が造られた世界、自然を五感で感じ、恵を下さっていることへの感謝を賛美や祈りで表すこと、体操やダンス、音楽に合わせて体を動かす心地よさを感じ、「こころはずませて」過ごせる毎日でありませうと願っています。讚美歌「ちから」1) かみさま下さい 元気な力をみんなと一緒に遊ぶ力を 2) かみさま下さい 助ける力を みんなと一緒に助ける力を 3) かみさま下さい 信じる力を みんなと一緒に生きる力を この歌詞に励まされ過ごしています。運動会当日は、今まで積み重ねてきた過程の中で培われた力が十分に発揮できますように、応援をよろしくお願い致します。